



学校だより

令和4年 5月31日

横浜市立榎が丘小学校

～豊かにかかわり合い、しっかり学ぶ、心身ともに健やかなえのきの子～

TEL 045(983)1067 FAX 045(983)5284

HPアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/enokigaoka/>



一人ひとりの思いで

校長 仲川 美世子

この校庭で行う最後のエノリンピック。全校で集って、大勢の保護者の方や来賓の方に見ていただいて盛大に行えたら…という願いは強くあったのですが、感染対策を考えるとその決断はできませんでした。あのような形のある意味「最後の」エノリンピックにご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。そういうわけで、全校共通のプログラムも作成していませんでした。でも、それぞれの学年の種目には名前が付いていました。

- 1年…徒競走「全力で走ろう、よーいドン」 表現「ポンポンで元気いっぱいクレヨンシェー！」
- 2年…徒競走「猪突猛進」 表現「手拍子そろえて！コンピューターおばあちゃん」
- 3年…徒競走「風を切って走れ！80m走！」 表現「えのきの風をふかそう！！ダイナミックえのき！！」
- 4年…徒競走「80m走 トライ！ 全力で走りぬけ！」 表現「全カソーラン2022」
- 5年…徒競走「ゴールまで走り抜け！」 表現「ウェービング ザ フラッグ～LIFE 5's ON～」
- 6年…徒競走「120人のプライド」 表現「Teamwork～心を一つに～」

一人ひとりがその走りに一挙手一投足に思いを込めて取り組みました。かっこよく踊りたい、手を高く伸ばしたい、腰を低く構えたい、1位になりたい……。たくさんの願いと気合いがこもっていました。校庭には二つの学年しか出ていませんでしたが、教室ではテレビで観戦していました。「紅組ばかり速いなあ」「動きがそろっていてすごいなあ」など、手拍子で応援したり感動したりするようすもありました。

また、今年度も応援団やリレー、係活動など高学年の児童が活躍する場をつくることもできなかつたので、せめて6年生には最高学年としての場を経験させたいと思い、様々な係活動に取り組んでもらいました。開閉会式の司会、スローガンの作成、徒競走での整列の補助、実況のアナウンス、各学年のプログラムづくりやその紹介など、全校行事のために自分の力を発揮することにとっても張り切っている姿を見ることができました。アナウンス原稿を直前まで練習する様子には責任感と緊張感が漂っていて、ほほえましくも頼もしさを感じた瞬間でした。

保護者の皆様や地域の皆様には開催にあたり、たくさんのご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。

